7人が登壇

■真室川公園の総合的な整備を
■役場前の道路を拡張しては
■真室川音頭大会の拡大を

町　長

□整備に向け国庫補助を要望
□地権者に打診中である
□第30回大会は会場を東京で検討

髙橋 秀則 議員

…町政を問う…

議員　真室川公園は、レストハウスが老朽化し、またイベントも春の梅まつりの他は無く、公園への進入路も少なく不便である。町の交流人口の増加を目的に総合的な整備が必要ではないのか。

町長　利用者ニーズの多様化・高度化や施設の老朽化などの対策について、総合的に検討する必要があると考え、今年９月に27年度事業として整備計画策定費の国庫補助要望をした。採択を受ければ来年度中に実施計画を作成し、28年度から順次整備を行う予定である。

議員　役場前の道路が狭く不便であり、特に冬は危険である。来庁者や職員の安全を図り、道路の幅員を拡張してはどうか。

町長　町道役場前線は最上広域消防北支署が面する重要路線であるが、ご承知のとおり幅員が狭小で右折、左折時に不便を来している状況にあることから、改良を図るべく地権者に打診をしているところである。

東京大会に向けてさらなる真室川音頭のＰＲを

議員　交流人口増加を目的に、真室川音頭大会の拡大を観点とし、出場者の増加を図るためにも賞金を高額にするなど、また、県外からの参加者には交通費助成などを考えてはどうか。

町長　今年で28回目の大会を開催することができた。第30回の記念大会は、会場を東京に移して開催したく、検討して頂いている。参加者の拡大を図り、大会レベルを高めることは重要なことである。表彰の内容や旅費の助成など参加者の拡大方策については、真室川音頭全国大会実行委員会で、十分検討して頂きたいと考えている。

他の質問

●秋山スキー場の利用拡大策を

ここがききたい――一般質問

■町の農業の目指す方向は

町　長

□儲かる農業の実現をめざし、若者に魅力のある産業にしていくことが大切である

大友 又治 議員

議員　米価下落に対する町の取り組みは。

町長　町は米価下落対策緊急資金利子補給や、ふるさと納税による緊急企画の取り組みのほか、※環境王国推進交付金も、米価下落対策に貢献すると考える。

　国の補正予算も、米価下落対策や燃油価格高騰対策、再生産支援対策などが盛り込まれる見込みである。また、国から生産出荷団体などに、周年安定供給のため売り急ぎ防止対策や仮渡し金の早期追加払いを要請していくなどの対策が講じられている。当面はこれらを注視したい。

議員　新規就農者の拡大施策は。

町長　儲かる農業の実現をめざし、若者に魅力のある産業にしていくことが大切である。青年就農給付金制度の周知や該当者の掘り起こしと、「農業後継者育成支援事業」や、「機械・設備の整備補助金」等を活用し、新規就農者の確保と安定経営を支援していく。

議員　農業産出額の拡大施策は。

町長　平成24年度の農業産出額の合計が約25億２，５００万円であり、うち米が約15億４，４００万円、園芸作物が約５億４，５００万円、畜産が約３億９，７００万円などである。

　園芸作物や伝承野菜の生産拡大と料理方法の普及や開発、６次産業化による加工・販売など新たな起業の取り組みの強化とともに、産直施設などによる町内産農産物の地産地消により農業産出額の拡大を図る。

議員　６次産業化の進捗状況は。

町長　真室川ブランド認定品22品目と、未認定の新商品18品目を含め、本年４月から11月まで約４，４００万円の販売高である。

　新たな産業の創出と雇用の場の確保を図り、地域経済の活性化に貢献できる、儲かる産業の実現に努力する。

逸品展の販売促進イベント（10/25）

※環境王国推進交付金…当該年度の11月末までに出荷・販売委託を行った特別栽培米または有機栽培米の１等米のうち、食味計による食味値が80ポイント以上またはタンパク値が7.5%以下の米に対して、1俵当たり500円を助成。